

平成20年12月19日

各位

不動産投信発行者名  
東京都千代田区丸の内二丁目7番3号  
東京ビルディング20階  
産業ファンド投資法人  
代表者名 執行役員 倉都康行  
(コード番号 3249)

資産運用会社名  
三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 廣本裕一  
問合せ先 インダストリアル本部長 荻久保直志  
TEL. 03-5293-7091

### 平成20年12月期の分配予想の修正に関するお知らせ

本投資法人は、平成20年8月13日付「平成20年6月期（平成20年1月1日～平成20年6月30日）決算短信」で公表した、平成20年12月期（平成20年7月1日～平成20年12月31日）の1口当たり分配予想について、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成20年度12月期（平成20年7月1日～平成20年12月31日）の分配予想の修正

	1口当たり分配金 (利益超過分配金は含まない)	1口当たり 利益超過分配金
前回予想（平成20年8月13日）(A)	11,037円	—
今回修正予想(B)	11,957円	—
増減額(B-A)	920円	—
増減率	8.34%	—
(ご参考)前期の1口当たり分配金実績	12,072円	—

(注1) 期末発行済投資口数 79,035口

(注2) 単位未満の数値は切り捨て、百分比率は小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

#### 2. 修正の理由

平成20年8月13日付「平成20年6月期（平成20年1月1日～平成20年6月30日）決算短信」別紙に記載する「第3期運用状況の予想の前提条件」の支払利息その他借入関連費用等について、借り入れの長期化や更なる信用収縮への対応を視野に入れ保守的な水準で見積もっていましたが、実際には短期での借換えとなり当初想定より低い水準となったことを主な要因として、「平成20年12月期の1口当たり分配金予想」に5%以上の差異が生じる見込みとなったため、現時点において修正を行うものです。

#### 3. 今後の運用の考え方について

本投資法人は、平成20年6月期決算公表時に「現状の市場環境を鑑み、LTV水準の引下げは急がない」という財務戦略及び「内部キャッシュフローの活用による成長の追及」という運用戦略を発表しておりますが、その後の金融環境の一層の悪化を踏まえ、手元流動性の確保やLTV水準の引下げも検討してまいります。その手法として、先般公表された政府の不動産会社・REIT市場活性化支援対策の活用やスポンサー企業との連携による手法、あるいは資産の売却等もその選択肢として視野に入れていきます。

(ご注意)

- ・ 上記は、現時点における運用状況の予想であり、実際の分配金は変動する可能性があります。本予想はこれを保証するものではありません。

以上